

Q 1. 女性部員の減少に悩みます。若い人は働きに出て参加せず、老人会状態。友人を誘っても役員になりたくないと拒否。確かに役員は重荷です。何か良い方法はないでしょうか？

今の役員決めではなく、個人会員も出席していただき、その中から決めてほしいです。毎年同じ人が役員になりますから、考えてください。

A 1. 企画部

女性部活動を広めるため、昨年より女性部だよりを広報誌「あまの風」に折込みをしています。また、行事予定カレンダーを見てお問い合わせいただくこともしばしばあります。どちらかの地区へ所属しての参加は抵抗があるという方も多く、参加方法を検討していかなければいけないと感じております。本部役員として行事への出役も少なくない中でいかに負担をかけず活発に活動を行っていくか、検討していくとともに、皆さまからも方法をぜひご提案いただき、今後へ繋げていけたらと思っております。

例年3月に地区役員会を行い、次年度の役員を決めていただいております。字役員の中から役員を決めている地区がほとんどですが、その方法については地区ごとに決めていただければと思っております。個人の方へ役員決めの案内を出すことは可能ですので、どのように役員を決めるのか、それぞれの地区で検討していただければと思います。

Q 2. たすけあいの会と女性部合併は不可能でしょうか？2ヶ所に席を置くのは無理ですが、たすけあいの行事に参加したい催しもあります。

A 2. 企画部

助け合い組織は、JAの相互扶助の精神に基づき、高齢者福祉活動や様々なボランティア活動に取り組んでいる組織であり、JAの施設等を活用したミニデイサービスの実施や行政からの委託により愛西おでかけサロンや脳若トレーニング・弥富市スマイル教室等の活動を行っています。

女性部組織は、JAをよりどころとして食と農、健康等に関心のある女性が集まって活動している組織であり、食と農、健康、趣味・教養、家の光記事活用など、多様な活動を展開し食農教育や趣味、教養活動を主体的に行うなど、住みよい地域社会づくりにも貢献しています。

このように取り組み活動が違う組織であり女性部組織と助け合い組織を合併する事はできませんが、お互いの組織で参加したい行事等があれば両組織へ加入いただきご参加を頂く事となりますのでご理解を願います。

Q 3. あまの風は毎回楽しみです。最近私の町内の方が記事に載り親しみがわきます。誌面も以前と比べ構成等も見やすくいいです。

広報誌あまの風は毎月楽しく読ませていただいております。明るい誌面で写真も多用されとても読み易いのですが、ページによっては文字が小さくて読みづらいところもあります。他のページ同様文字がほんのひと回り大きく、太くなると読み易いのではいつも思っています。

A 3. 企画部

広報誌「あまの風」をご愛読頂きありがとうございます。

JAは、農業関連事業だけでなく、組合員の暮らしや地域を支えるためのさまざまな事業や活動を行っていることを組合員の皆さんにお知らせすることが広報誌の役割だと思っております。

また、JAの事業や活動は、組合員だけでなく、地域の皆さんも幅広く利用・参加することができる事や地域を支えるJAの取り組みや果たしている役割をより広く知ってもらい、地域に仲間の輪を広げることがJAの大事な広報活動の目的であると考えています。

ご意見いただきました文字の大きさにつきましては全国広報通信からの記事の引用や海南病院だよりなどJA側で校正ができない記事以外につきましては、文字の大きさを検討させて頂き読みやすい広報誌となるよう校正を検討させていただき、今後も組合員の皆様にわかりやすく情報発信できるよう広報誌を作成してまいりますのでよろしく願いいたします。

Q 4. 前回まで家の光を購読していないと参加できないグルメでしたが、今回は補助なしではありましたが参加でき良かったです。毎回楽しみにしています。ちなみに購読している方としていない方の参加比率はどの位ですか？

A 4. 企画部

令和元年度の女性部員は12月末現在690名となり、そのうち家の光購読者は151名となっております。(21%が購読者)

今年度は8月と12月にグルメクラブを開催させていただきましたが、

8月開催時は53%が購読者・47%が未購読者(購読者44名・未購読者39名)

12月開催時は43%が購読者・57%が未購読者(購読者29名・未購読者38名)

となっております。

Q 5. 支店核活動にメロン狩りやブドウ狩りなど考えていただけるとうれしく思います。

A 5. 企画部

支店を核としたJAづくり活動の企画にご参加いただきありがとうございます。

支店独自で実施した「りんご狩り」の企画につきましては地域の組合員と支店とのつながり強化を図るためには良い企画であると思います。

今後は味覚狩り以外の企画についても地域全体で支店を盛り上げる企画をご提案いただけたらと思いますのでよろしく願いいたします。

Q 6. 広報大使れんたろうはイベント時には欠かせない存在になりつつあります。あいさいさん祭りでも目立っておりましたが、“JAあいち海部のれんたろう”をPRするようなシール等、何かあれば市内外からの大勢の人たちへのアピールになるのではと思います。

A 6. 企画部

平成28年度の合併10年記念の企画として、れんたろうの着ぐるみキャラクターを作成しました。その後、クリアファイル10,000枚及びシール3,000枚も作成し支店活動の収穫体験時や各イベントにおいて配付をさせていただいております。

現在シールは配付終了しており新たなシール作成を検討している段階であります。今後も様々なイベントでPRしていきたいと考えておりますのでイベント等での活用希望があれば企画部までお問合せをお願いします。

Q 7. 蟹江支店の女性部活動の参加の折、職員の方が育てたパンジーの苗を頂き、とても長くたくさんの花が咲きとてもうれしかったです。支店でも花の苗や野菜の苗の販売や子育ての方々が集まりやすいイベントなど催しがあったら足を運んでくれ女性部員への加入につながるのではないのでしょうか。

先般、知人らと年金受取金融機関の色々なサービスや特典の話で盛り上がった折、JAの支店内で無料のお茶が飲める話をすると皆が驚いていました。私たちには慣れて当たり前のようなことが意外と知られていないと感じました。些細なことかもしれませんが、おもてなしのサービスが実施されていることをたくさんの人に知ってほしいと思いました。

A 7. 企画部

支店の女性部活動へご参加いただきありがとうございます。

今後も支店へ足を運んでいただけるようなイベントを「支店を核としたJAづくり活動」を通じ企画して参りたいと思いますので、良い企画があればご提案もお願いいたします。

また、現在各支店に無料給茶機を設置してお茶等を提供しております。佐屋・鍋田支店においては年金振込日に抹茶の振舞いや、支店毎に来店者へのプレゼント企画も実施しており支店だより等により周知してまいります。

Q 8. J Aの支店に伺うと、以前とはずいぶん雰囲気が変わったことに気が付きます。職員の方々が「一生懸命来店者と向き合おうとしている。」そんな感じが伝わってきます。でも、来客者は千差万別、なかなか思いが伝わらないようにも見受けられます。わかっている人もいるので、これからも頑張って自己研鑽してほしいと思います。

A 8. 企画部

支店職員にとって大変励みになるご意見ありがとうございます。

現在、「支店を核としたJ Aづくり活動」を平成29年より継続的に取り組み効果がでてきているのではないかと考えております。

また、総務部人事課では支店の課題等の気づきや職員間または組合員との間で「ありがとう」が表現できる支店づくりを図る「ありがとう倍増プロジェクト」も実施しております。

今後も「支店を核としたJ Aづくり活動」等を通して、地域に必要な組織だと言って頂けるよう取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

Q 9. 営農センターで肥料（いちご配合、かおり等）はグリーンセンターでは扱っていないようですが、どうしてですか？対象が違うのでしょうか？

A 9. 園芸部

グリーンセンターでは家庭菜園向けの商品の取扱いを中心に販売をしております。また両グリーンセンター敷地内には営農センターの隣接により、グリーンセンターでは取扱品目を絞りながら小型規格の商品を販売しておりますのでご理解ください。

Q10. 菜々耕房の事でおたずねします。真ん中の間仕切りがありますが取り除くことはできませんか？売り場は見渡せるほうがお客さんの買う（興味）がわいて結果的に売り上げが伸びると思います。

同じ菜々耕房の野菜売り場についてです。天井が低いのか保護幕がうすいのか今年の夏も暑く、野菜苗がしおれていました。改善をお願いします。

菜々耕房では野菜等だけでなく肉や魚なども売っているとこの場で買い物も終わるので入れてほしいです。

A10. 園芸部

建物の構造上と防犯上の観点から、建物を仕切って店舗の運営をしています。利用者の利便性及び買い回りがスムーズにできるよう常に売場に変化をつけてまいりますのでご理解ください。

苗売場におきましては昨年、循環扇を設置し苗売場の温度を下げ快適に買い回りができるよう取り組んでまいりましたが大変ご迷惑をお掛けしております。今後は商品におきましても日々の品質管理の徹底をはかるとともに、遮光ネットの検討もしてまいります。

昨年、冷蔵ケースも増台し、今年から豚肉（愛西ポーク）の販売をスタートいたしました。また鮮魚も毎週火曜日、店頭業者にて現在は販売をしております。今後更に精肉（豚肉、牛肉、加工肉）及び鮮魚の取扱、販売拡大にむけて検討してまいりますのでご理解を賜りたいと思います。

Q11. 味のトラベルを利用しています。時によってこの味でこの量でこの値段？と思うひどいときがあります。最近では「とんきつき餃子」が味もいまひとつ、量もとても少なく残念でした。去年の秋ですが、腐ったぶどうの粒が混じったままのとても悪い状態のぶどうが送られてきて、本当にひどかったです。推進されるとき、味・量・値段をきちんと確認してリストにあげてみえるでしょうか。ぶどうのときなど、クレームはこなかったのでしょうか。

A11. 園芸部

味のトラベルの商品選定については毎年、経済連と県下20JAの担当者にて前年までの商品の状態や申込み数を勘案し入替を行っており、新しく採用する商品についてはその内容と金額を検討の上、試食等を行い決定しております。今回いただいたご意見も、2021味のトラベルの商品検討の参考にさせていただきます。また、ご指摘いただいたブドウについては、酷暑の影響もあり傷みや脱粒のクレームが若干有りました。今後、もし商品でお気づきの点がございましたら、お手数をおかけしますが、園芸部店舗購買企画課まで連絡をお願いします。大変ご迷惑、ご心配をお掛けしまして申し訳ございませんでした。

Q12. 苦土石灰と消石灰の違いや使い方がよく分からず近くにみえた店員の方に聞いたところ、土の酸性やアルカリにより違うこと、苗をすぐ植えるかどうかにより違うということでした。初心者ならず苗が植えられる苦土石灰が良いことを教えていただきました。聞かれたら納得がいく答えが得られ満足できました。最近店の人をさがすのも忙しそうで大変なことがありましたが、次も行こうと思えました。(菜々耕房にて)

A12. 園芸部

利用者の満足度向上に向けて、店舗職員の人材育成にも力を入れております。競合店との差別化を図るうえでお客様からの問合せにもしっかりお応えができるよう、今後も職員教育と商品知識向上に取り組み、お客様が気軽に来店していただける店舗づくりに努めてまいります。

Q13. 子供たちの参加できる行事を、例えば学校単位とか保育所単位で実施できないでしょうか？親の参加も引き出せるような行事にすれば若い世代に「農は生命の源である」ことを理解してもらえるようになるのではないのでしょうか？私たちが子供のころにやったような「休耕地を利用した稲作」とか「サツマイモなどの野菜作り」とかをJA指導でやってみてもよいのでは？

A13. 園芸部

当JAでは小学校を中心に出席授業を実施しています。学年によって内容は様々ですが、ミニトマトやサツマイモなど、野菜の栽培指導をはじめ、田植え・稲刈りの指導を実施しています。

なお、過去には保育所においても田植えの指導を実施しておりました。また、親御さんのご参加という点においては出席授業の場合はご参加いただく事は出来ませんが、当JAの『わいわい農場』を活用した行事として、親子参加型のアグリスクール『わいわいキッズスクール』の通年開催や単発企画ではありますが、野菜の収穫体験・料理体験を実施しております。

Q14. 主人が70歳を越えてから産直・農業塾に出席させて頂き、病気も快気になりうれしいです。

A14. 園芸部

当JAのみならず他JAにおいても産直出荷者の高齢化や減少は大きな課題です。こうした中、当JAにおきましても産直生産者の育成に向けて、「農業塾」「就農塾」の開催、また農産物を作る「楽しさ」グリーンセンター店舗で売れる「喜び」を知っていただき、農産物の出荷にご協力を賜りたいと思います。

Q15. 農薬、肥料、農業用資材のほとんどをホームセンターで購入しています。なぜ農協を利用しないかというと、品物が揃っていない、割高だからです。もう少し身近な農協になってもらえればうれしく思います。

A15. 園芸部

農業資材情勢、消費者ニーズの把握、ホームセンターの品揃え等参考にしながら、専業農家、小規模農家、家庭菜園向けへ、営農センター購買、グリーンセンター店舗での商品陳列をしていきます。

各支店の購買窓口については、陳列スペースを有効活用しながら各支店管内のニーズに見合った品揃えをしています。

また注文商品の納品について、管轄する営農センターで在庫としてあるものは、PM4:00までに注文いただければ翌日配送で対応しています。但し金曜日の注文は、月曜日の配送で対応させていただきます。注文商品が営農センターに在庫がない場合、商品入荷後の翌日配送で対応しています。

また、価格についても仕入れ時のスケールメリットを発揮し、少しでも皆様方に安価で提供できるよう努力させていただきますのでご理解を賜ります。

Q16. 保有米を利用しています。夫と2人なので、10kgのお米を食べるのに1か月はかかります。息子のところも娘のところもやはり1ヶ月ほどかかって食べています。夏など特に味が悪くなっ
てしまいます。せめて5kgの袋をつくってほしいと思っています。お米を食べなくなったと認
識してみえると思いますが、対応されていないですね。

A16. 農産部

J A 乾燥施設をご利用頂きありがとうございます。ご意見のとおり全国では毎年8万トン程度の
米消費量減少が続いています。核家族化の進行などにより家庭での米消費形態も変化していること
は耳にするところでございます。ご指摘いただいた容量の変更については、対応できる機械設備の
整備と、お預かりしている保有米の管理において新たな体制の整備が必要となります。施設を利用
される方のニーズに沿った対応に向け取組可能性の検討をしております。お米は精米後の時間経
過により食味が低下していきます。また、高温期では保冷・冷蔵庫での保管も有効な対策と思われ
ます。

Q17. 米を生産している農家です。現在は籾摺りをJ Aのカントリーでお願いしており、後は家でや
っております。最近業者の方にやってもらっている方が多くなってきました。そこで、

- ① J Aさんと業者さんとの関係はどうなっていますのでしょうか
- ② 業者さんをお願いする場合、全面委託と一部委託の場合経費と収益の関係はどうなりますか。
教えてください。よろしくをお願いします。

A17. 農産部

「業者」とされているのは受託オペレーターの事かと思いますが、

- ① 農家⇒J A⇒業者(受託オペレーター)へ作業委託となっています。
- ② 一部委託とは耕起・田植・刈取の基幹3作業のみとなります。(肥料散布も含む)

その他の作業(畦畔管理・水管理・水稲除草剤管理)は農家・集落営農組織が行っています。

全面委託が農地集積事業等を活用した農地貸付けであれば、地域で定められた農地の賃貸料を受
け取ることとなり、その賃貸料が収入となります。一部委託の場合、米であれば販売代金等が収入
となり、作業委託により発生した作業料金等が新たな費用として発生するので差引きした残りが収
益となってくると思われます。委託された作業の種類により作業料金は変動してまいります。ただ
し、一部作業委託の場合、労働費をどう見るかにより大きく変わります。

Q18. 今年の早場米は収量が良かったと聞いております。この地域の農業の根幹は米作であります。
実った稲穂が頭を垂れているのを見ると、本当にうれしくなります。しかし、最近は草を植えた
のかと見まちがうような田んぼと、全く草のない田んぼの両極端のように思います。この違いは
オペレーターの力量差でしょうか？J Aにも営農指導の部門があると思いますが、稲作の作業指
導はどうなっているのでしょうか？

A18. 農産部

田植には移植栽培と直播栽培の方法があり、直播栽培の場合は水田を淡水状態にしない期間があ
るため、雑草が多い圃場になる可能性があります。これらの対応として生育してから除草剤で対
応することになります。

移植栽培についての雑草問題は、近年問題になっており、稲穂が頭を垂れる時期に黄色い花を咲
かせる雑草(チョウジタデやヒレタゴボウ)が発生しています。

対応として、適正な水田の水管理が必須ですが、雑草を見かけたら圃場にて抜き取るか、中干し
期間中にバサグラン等による除草剤対応となります。

今後も営農指導する立場として作業を実施しているオペレーターに対し、しっかりと指導・対応
して参ります。

Q19. 飛島支店のATMに電卓を置いていただくと非常に便利です。他のATMでは電卓のおいてあ
るところもあります。振込の時など手数料を引いたりするのにいつも携帯を使っているのでは非
置いてほしいです。

A19. 金融部

お客様の利便性を確保するため設置させていただきました。

Q20. 年金の受け取りに農協を利用しています。誕生日月にプレゼントをいただくのですが、他行に比べ良くないように感じます。わざわざ届けていただかなくても各自で（動ける人）引換券（郵送になります）と交換で受け取れるようにしたらどうでしょうか？2種類の選択にしてもよいと思います。品物は菓子にしても洗剤にしても・・・ですが、メーカー一品とか質の良いものにしてもらいたいと思います。（少量で十分です）

A20. 金融部

お誕生日プレゼントは、年金友の会の役員会で決定しておりますので年金友の会役員にご報告させていただきます。

Q21. 第28回JA全国大会決議では、女性参画目標を第4次男女共同参画基本計画やJA全国女性組織協議会が掲げる独自目標をふまえ、正組合員30%以上、総代15%以上、理事等15%以上としました。当JAでも、女性理事の助け合い組織と女性部組織からの推薦枠など新たな取り組みをしていただいているところです。当JAの成果目標に向けての経過をお伝えください。

A21. 総務部

(令和元年11月末現在)

女性正組合員比率 18.3%

(正組合員数7,690人うち女性正組合員1,405名) H28末対比239名増

女性総代比率 15.6%

(総定数500名うち女性総代78名(令和元年8月～令和4年7月期))

女性役員については、組合長の諮問機関となる総合審議会で協議してきた。

女性役員比率 6.7% (30名中2名)

令和2年改選期10% (30名中3名) 令和5年改選期16.7% (30名中5名)

【参考】

JA大会の目標では、女性正組合員比率25%、女性総代比率10%、

総合的な監督指針では、役員比率早期に10%、平成32年度までに15%を目指す成果目標

Q22. 私たちJAあいち海部女性部は、JAを拠り所に、食と農、暮らしを基軸に様々な活動に取り組んでいます。地域になくなくてはならないJA、地域にJAがあつて良かったと思って頂くためには、支店を核とした活動にも力を注ぐべきだと思います。その一方で、目的意識を持たない活動であつてはならないと考えます。「支店を核とした活動」と「女性部地区活動」の在り方についてJAや支店の考え方をお示しく下さい。また、より身近で地域に根差した活動にするために、切り離すことができない活動であるならば、支店の担当職員配置は不可欠であると思います。ぜひ、ご検討ください。

A22. 企画部

【支店を核とした活動】

「支店を核とした活動」は組合員のみならず次世代や地域住民がJAに関心を持って事業やイベント、諸活動へ積極的に参加していただき地域との新たな関係づくりを進めることを目的に地域の実情にあわせ各支店で企画し取り組んでいる活動であります。

支店核活動は、事業とは違い経営面への効果を測ることは難しいですが、「協同組合としてのJAらしさ」が発揮される活動であり、組織全体で取り組んでいます。今後も組合員とJAとのつながり強化のため継続的に取り組むべきものであると考えています。

【女性部地区活動】

JAあいち海部女性部の基本方針として、『健全な食と農を地域につなぐ活動』や『生涯現役健康活動』JAの支店を核として、目的や趣味を同じくする人が集まる活動を充実させ、組織活動を活性化させる『地域の絆づくり』に取り組むことが重点活動方針となっています

この基本方針に基づき、各支店の特色を活かし、支店を核とした取り組みと連携しながら活動して頂くことにより各地区の活性化をはかり、本部組織の活性化にも繋がればと思っています。

今後も支店と各地区女性部のつながり強化を図るため継続的に支店核活動を行って参りますのでご協力をお願いいたします。

【支店の担当職員配置】

支店の担当職員は、北部地区は合併前に集約、南部地区では合併後に集約してきた経過があります。集約以前は支店の担当職員の力量により活動に差があったことも事実であり、本部活動として集約してきました。しかしながら、部員の高齢化や部員数の減少により各地区で再度活動したいとの要望もあり、地区活動開催も要望に応じて参りました。

今後も、企画部に配属の専任担当が支店に出向く体制を続ける方針ですので、支店専任担当は配置しませんが、支店全体で取り組みますのでご理解願います。

Q23. J A フェスタ等においてケガをされる方や体調を崩される方がありました。イベント会場において救護ブースが設置されておらず、手当をするにも大騒動となりました。救護スペースの確保をお願いします。また、対応、処置、救急搬送に向けてのマニュアル整備が必要だと思えます。

A23. 企画部

J A あいち海部フェスタにおいて体調を崩された方がお見えになり関係者・スタッフの皆様にご心配をお掛けいたしました。

現在のイベント開催時には、簡単な応急措置のできる救急箱については総合案内で準備をしておりますが、今回発生した体調不良の方に対する対応は想定していませんでした。

今後は救護スペースの設置や対応等について安全管理マニュアルを作成し関係職員へ周知を行い、緊急時に迅速な対応が出来るようにして参ります。

Q24. イベントに多くの若い女性の方や小さなお子さんをお連れの方もたくさん来場されます。女性トイレが少ない事は仕方がない事かもしれませんが、女性トイレや多目的トイレにおむつ替え台があると良いと思います。若い世代の方々にも J A をより多く利用して頂くためにもぜひ設置してください。

A24. 企画部

イベント開催をする施設においてトイレが少なく来場者へご迷惑をお掛けしている事は事務局としても認識をしております。

建物の構造上増設は難しく出来ませんが、ご意見のありましたオムツ交換台の設置については現在、各施設の多目的トイレ内には設置がございます。今後のイベント開催時にはPOP等でオムツ交換台の設置がわかるよう表示させていただきます。

また、イベント会場内のトイレ設置箇所を図面を表示をさせて頂き混雑時に少しでも緩和できるよう案内表示させていただきます。

その他意見

1. J A 職員の方、女性部役員の方には色々学ばせて頂き感謝します。ありがとうございました。